

ツキヨタケ **【毒】**  
新潟県内で最も食中毒  
が多いきのこ



# 新潟県における 植物性自然毒食中毒への対応 (毒きのこを中心に)

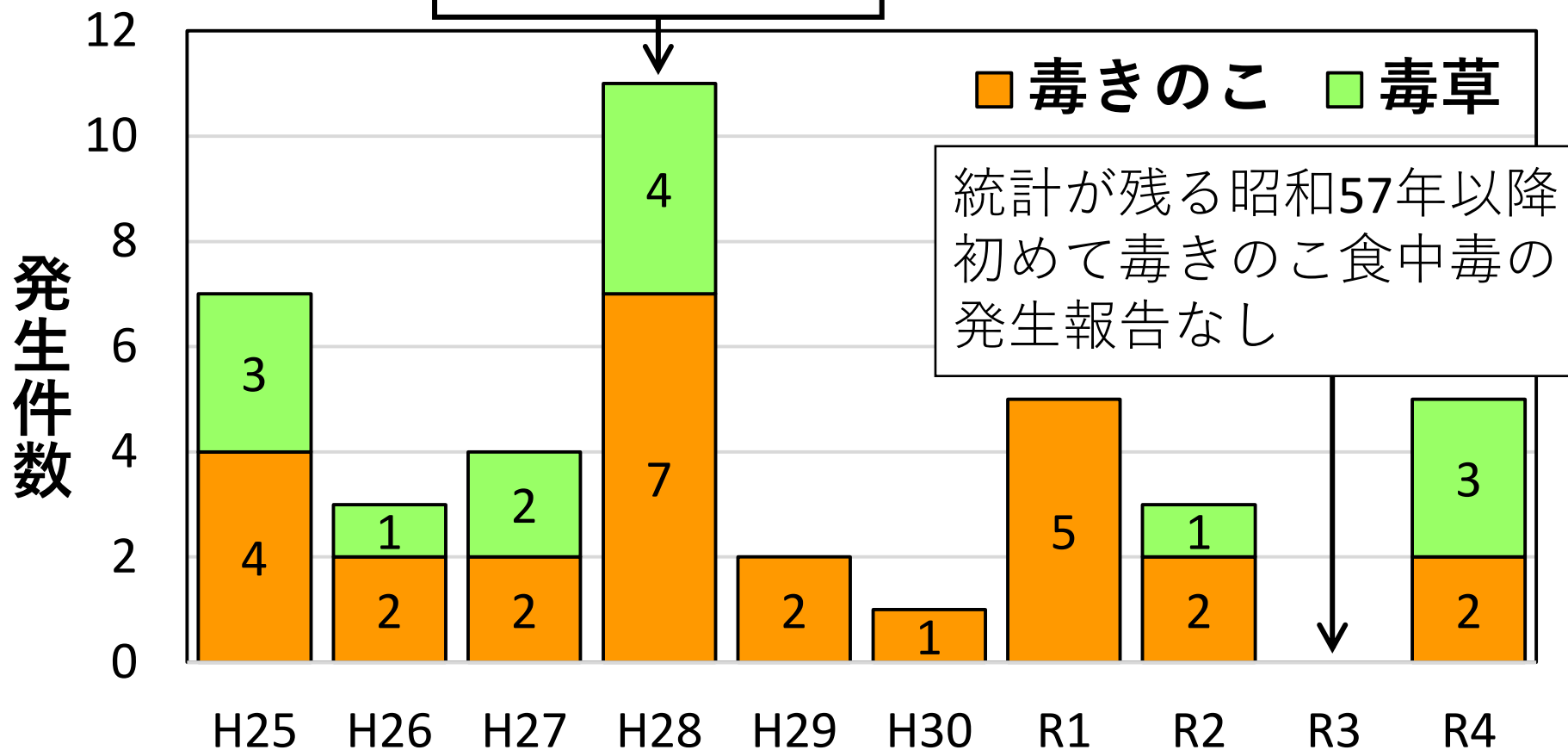


新潟県

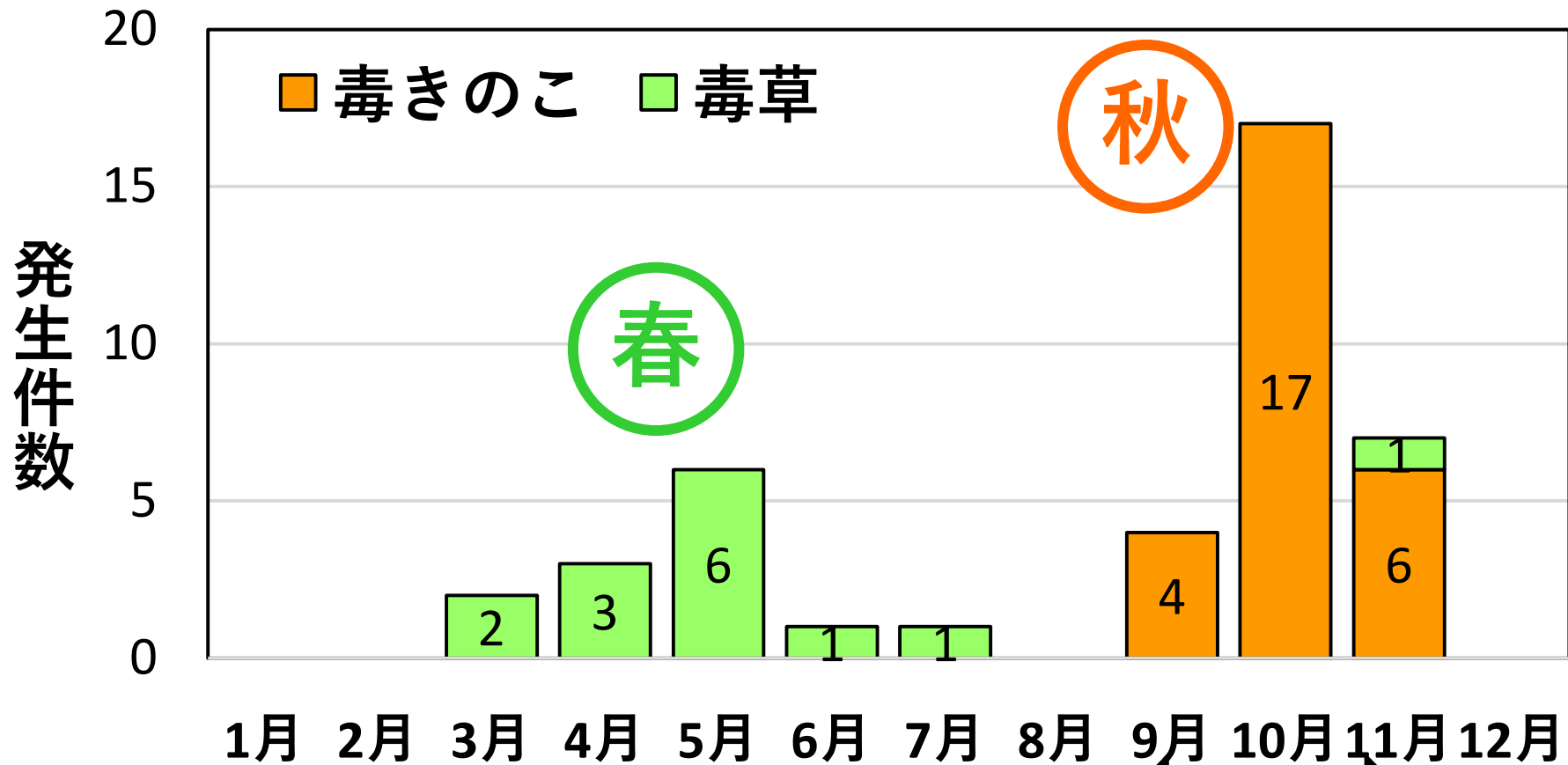
福祉保健部生活衛生課

# 新潟県内で発生した 植物性自然毒食中毒(過去10年・年別)

毒きのご食中毒  
発生警報発令



# 新潟県内で発生した 植物性自然毒食中毒(過去10年・月別)



- 新潟県食品衛生監視指導計画に基づき設定
- 重点的に予防策を実施

毒きのこ食中毒予防強化期間  
(9月1日～11月15日)

# 新潟県内で発生した 植物性自然毒食中毒(過去10年・種類別)

## 毒きのこ

## 毒草



その他, 6

ドクササコ, 4

ツキヨタケ,  
17

その他, 6

ヒメザゼンソウ,  
3

スイセン,  
3

コバイケイソウ,  
2



数字は発生件数

# 事例① 知人からもらったきのこ(R1年11月)

- 知人から山で採取したきのこをもらい、きのこ汁に調理して食べた3人が、約30分後に吐き気・おう吐を呈した。
- 残品の鑑別の結果、有毒の「ツキヨタケ」であった。
- 知人は食用の「ムキタケ」と思って採取していた。

(知人宅にあった残品は「ムキタケ」のみであり、「ムキタケ」と「ツキヨタケ」の両方を採取したと考えられた。)



ムキタケ 【食】



ツキヨタケ 【毒】

## 事例② 自宅に生えていたきのこ(R4年11月)

- 自宅敷地に生えていたきのこを採り、きのこ汁に調理して食べた5人が、約12時間後に下痢・腹痛等を呈した。
- 残品の鑑別の結果、有毒の「**コレラタケ(ドグアジロガサ)**」であった
- 例年、敷地に食用の「**ナラタケ**」が生えていたことから誤って採ったもの



ナラタケ 【食】



コレラタケ 【毒】

# 新潟県における 植物由来食中毒予防のための取組

## 【予防の心得】

- (1) 食用と正確に判断できない植物(きのこ)は絶対に「採らない」「食べない」「人にあげない」
- (2) 食用植物(きのこ)と有毒植物(きのこ)は同じ場所に生えることがあるので採る際は1本ずつよく確認する。

クサウラベニタケ **【毒】**  
(別名：名人泣かせ)



# 新潟県における予防啓発事業

- (1) にいがた食の安全・安心サポーターによる啓発
- (2) リーフレットの作成・配布
- (3) マスメディアを活用した啓発
- (4) 店頭掲示板による啓発
- (5) インターネットを活用した啓発
- (6) 毒きのこ食中毒発生注意報・警報

※ 毒きのこについては、9月1日から11月15日までの予防強化期間に重点的に実施



# (1)にいがた食の安全・安心サポーターによる啓発

- 食の安全に関する豊富な知識を持つ人材をサポーターに委嘱し、県民への普及啓発に取り組んでいただく。

(にいがた食の安全・安心基本計画の施策の一つ)

- 現在35名中、12名がきのこに関するサポーターとして、きのこ鑑別相談やきのこ講習会の講師として活躍

- 活動日数・利用者数(きのこ関係)

平成30年度	延べ408日	2,854人
令和元年度	// 398日	3,351人
令和2年度	// 332日	1,915人
令和3年度	// 323日	2,265人



**ハイイロシメジ【毒】**  
事故はあまり多くないが  
鑑別相談が比較的多い

# きのこ講習会

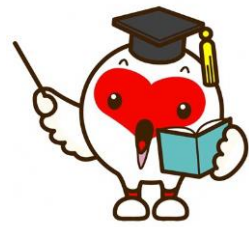


- 県内各地の食品衛生協会が主催
- サポーターを講師に招き、住民を対象に野生きのこの見分け方や採取の注意点を講習



採取された野生きのこの展示の様子

# きのこ講習会



きのこの名称と食毒区分を記入して展示



# (2)リーフレットの作成、配布(きのこ) A4版

おもて

裏

## きのこによる食中毒に注意!

～きのこによる食中毒防止心得～

- その1 食用と正確に判断できないきのこは絶対に、採らない! 食べない! 人にあげない!
  - その2 様々な「言い伝え」は、全く根拠がない迷信であるため、信じない!
- 主な迷信
- ①柄が縦に裂ければ食べられる。→ 毒を持つきのこの多くは柄が縦に裂ける。
  - ②なすと一緒に料理すれば食べられる。→ 食中毒を起こした例は多数ある。
  - ③虫が食べているきのこは食べられる。→ 虫は毒のあるきのこも食べる。

## 誤食の多い毒のあるきのこ

**ツキヨタケ 毒**

特長 県内で最も中毒の発生が多い毒きのこ。①ヒダが縦線で発光する。②柄の内の内部に黒紫色のシミあり。

症状 おう吐、腹痛、痙攣な下痢。



**ドクササコ 毒**

特長 傘は淡橙黄色～茶褐色。開けばじょうご型になる。

症状 手足の先が赤くはれ、焼け火傷を刺すような激痛が1ヶ月以上続く。



**クワクラベニヨタケ 毒**

特長 成熟するとヒダが肉色となる。クラベニホテイシメジ(食)と一緒に生えていることがある。

症状 激しい吐き気、おう吐、腹痛。



**シイタケ 食**



**ナラタケ 食**



**クラベニホテイシメジ 食**



食中毒予防のための食生活

## その他の毒のあるきのこ

**ヒカガシビレタケ 毒**

特長 傘は鈴筒型で、橙褐色～黄土褐色。毒つげと、黄変する。

症状 手足のしびれ、幻覚。



**カキシメジ 毒**

特長 傘は帯赤褐色～茶褐色。ヒダは白色で、次第に褐色のシミができる。

症状 おう吐、下痢、腹痛。



**ニガクリタケ 毒**

特長 鏡筒色で小さく、苦味が強い。ヒダは、オリーブ色～黄褐色。

症状 おう吐、下痢、腹痛、死亡例あり。



**コレラタケ (ドクアツロガサ) 猛毒**

特長 ナラタケなどに似たきのこ。公園などのおがくずに出ることがある。

症状 腹痛や下痢などコレラのような症状が続き、死に至ることもある。



**テングタケ 毒**

特長 傘には、白色のイボが多数あり。老傘は傘が反り返る。

症状 精神錯乱、幻覚。



**オオワライタケ 毒**

特長 傘は黄金色～帯褐色で縦線状がある。非常に苦い。

症状 嘔吐、めまい、幻覚、幻聴。



**カエントケ 猛毒**

特長 棒状やサンゴ状をした赤色のきのこで、脚に20cmを超える。

症状 運動障害や言語障害、腎不全、肝不全がおこり、死に至ることもある。



**ドクツルタケ 猛毒**

特長 全体に清楚な白色で、つばとつばをもち、英名を「死の天使」という。

症状 コレラ様症状を呈し、死に至ることもある。



**ハイイロシメジ 毒**

特長 秋にしばしば大発生する白っぽいきのこ。

症状 下痢、おう吐等。



きのこは発生時期や発生場所などで形態が異なることが多いため、写真だけを頼りに安易に鑑定せず、確実に鑑定できる人に判断してもらいましょう。  
もしも、きのこを食べたことにより胃腸炎等の食中毒症状を呈した場合は、早急に医師の診断を受けることが大切です。  
その際、原因となったきのこが残っている場合は、持参して治療の参考にしてもらってください。



お問い合わせ  
生活衛生課 直通 025 (280) 5205  
もしくは最寄りの 地域振興局健康福祉(環境)部(保健所)まで

# (2)リーフレットの作成、配布(山野草)

A4版

おもて

裏

## 有毒植物による 食中毒に注意!

有毒植物を誤って食べると胃腸炎症状やけいれんなどを起こし、時として死亡することもあり注意が必要です!

～有毒植物による食中毒防止心得～

**その1** 食用と正確に判断できない山野草等は絶対に採らない! 食べない! 人にあげない!

**その2** 食用植物と有毒植物は同じ場所に生えることがあるので、採る際は1本1本をよく確認する。

### 県内で誤食の多い有毒植物

有毒植物	よく似ている食用植物
<b>イヌサフラン</b> 毒 <b>症状</b> おう吐、下痢、呼吸困難、重症化で死亡することがある。 <b>特徴</b> イヌサフランには球根がある。 <b>有毒部位</b> 全草 	<b>ギョウジャニンニク</b> 食 <b>特徴</b> ニンニク臭がある。 
<b>コバイクイソウ</b> 毒 <b>症状</b> 口の痺れ、血圧低下、心不全、重症化で死亡することがある。 <b>特徴</b> 葉に縦に葉脈が多数ある。 <b>有毒部位</b> 全草、特に根 	<b>オオバギボウシ(ウルイ)</b> 食 <b>特徴</b> 太い中央の葉脈から、葉の縁に向かって脈が分かれる。 

春 未だ知らずやすい季節

## 県内で誤食の多い有毒植物

有毒植物	よく似ている食用植物
<b>スイセン</b> 毒 <b>症状</b> おう吐、下痢、けいれん。 <b>特徴</b> ニラのような臭いはない。 <b>有毒部位</b> 全草、特に球根 	<b>ニラ</b> 食 <b>特徴</b> 強烈なおいを放つ。 
<b>トリカブト</b> 毒 <b>症状</b> 口の痺れ、呼吸困難、心臓麻痺、重症化で死亡も。 <b>特徴</b> 根は縦に長く伸びカブのような形をしている。 <b>有毒部位</b> 全草 	<b>ニリンソウ</b> 食 <b>特徴</b> トリカブトの芽出し時がニリンソウの葉に形がそっくりで、時に混生する。 

春 間違えやすい季節

※ここに記載した植物の特徴は一例であり、これだけでは植物の種類の詳細な特定は出来ません。

### その他、注意が必要な有毒植物

- コンフリー……………以前は食べられていましたが、肝障害等の健康被害を生じるおそれがあることから食べないよう呼びかけています。
- ジギタリス……………食べると下痢、不整脈、重症になると心停止を起こします。
- ハシロドコロ……………芽生えがフキノトウに似ており食べると神経障害を起こします。
- チョウセンアサガオ…根がゴボウ、つぼみがオクラ、種子がゴマに似ており食べるとけいれん、麻痺などを起こします。

◎昭和53年以降に県内で発生した有毒植物による食中毒事例については、県のホームページ「食の安全インフォメーション(<http://www.fureaikan.net/syokuinfo/>)」に掲載しています。





**新潟県**

問い合わせ先  
新潟県福祉保健部生活衛生課  
〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1  
TEL 025-280-5205 FAX 025-284-6757 または最寄りの保健所へ

H23.4作成

# (3) マスメディアを活用した啓発



## テレビ (県からのお知らせ)

画面イメージ

有毒植物による食中毒に注意！

- 食用と正確に判断できない山野草などは絶対に採らない！  
食べない！  
人にあげない！

- 食用植物と有毒植物は同じ場所に生えることがあります  
採る際は、1本1本よく確認を！



<問い合わせ>

生活衛生課 Tel 025-280-5205

## 新聞(県の広報欄)



Info 案内 毒きのこによる食中毒に

注意しましょう！

秋は、毒きのこによる食中毒が多く発生します。食用と正確に判断できないきのこは、絶対に「採らない!」「食べない!」「人にあげない!」ようにしましょう。

●様々な言い伝え(柄が縦に裂ければ食べられる、虫が食べているきのこは食べられる等)は、全く根拠がない迷信なので、信じないようにしましょう。

※きのこを食べて体調が悪くなった場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

▼詳しくは、県ホームページ(「にいがた食の安全インフォメーション」で検索)、最寄りの保健所(地域振興局健康福祉(環境)部)

# (4)店頭掲示板による啓発

掲示板の台紙  
(B2版)

515mm

- 平成19年から実施
- 県内スーパーマーケット等 約200店舗の協力を得て、店頭に掲示板を設置
- 県から年20回ほど配信する 食の安全情報を掲示し、消費者に見てもらう。

728mm

①掲示板台紙を配布



②食の安全情報をメール

③カラー印刷し、掲示



# 店頭掲示版(R3.9.21号)



## クイズ「きのこのこにまつわる言い伝え編」

No. 239

新潟県

食の安全 クイズ

安心

### 第8弾:きのこのこにまつわる言い伝え編

9月から11月中旬までは、「毒きのこ食中毒予防強化期間」です

キッキッキイ〜。  
おれは毒きのこ「ツキヨタケ」!  
おれのことを知ってくれよな

きのこ食中毒ワースト1

県内で過去5年間※に発生した「毒きのこ中毒」のうち  
**7割はツキヨタケが原因だ!**

※H29年～R3年

おう吐・頻繁な下痢を起こさせる

新潟県

No.239

さあ、次の「言い伝え」が  
ウソかホントかを見抜いてくれ!

①:地味なきのこはすべて食べられる?  
ウソ・ホント

ちなみにおれは地味な茶色だけどな

木に生えるツキヨタケ

②柄が縦に裂けるきのこはすべて食べられる?  
ウソ・ホント

ちなみにおれの柄も縦に裂けるぜ  
(柄は短めだけどな)

ツキヨタケの特徴として、柄の内部に暗紫色のシミがあることが多い。



# 店頭掲示板(R4.3.14号)

## クイズ「キケン発見！毒草編」



No.228

新潟県

食の安全クイズ

安心

### 第4弾：キケン発見！毒草編



有毒なイヌサフランを紹介するよ

⚠️ 食べると死亡することがある

過去10年間※で、10名が死亡(全国)

※H23～R2に発生した有毒植物による食中毒の死者数は14名で、このうち10名がイヌサフランによります

⚠️ 春の芽吹き頃、食用のギョウジャニンニクと似る

毒「イヌサフラン」

食用「ギョウジャニンニク」



1 にんにくのにおいあり

新潟県

No.228



問題だよ！ (正解は右下にあります)  
イヌサフランはどの部分が有毒かな？

葉



花



球根



イヌサフラン以外も春は注意が必要！  
だから、次のことを守ってね

⚠️ 食用と正確に判断できない山野草等は絶対に採らない！食べない！人にあげない！

⚠️ 野菜の近くに毒のある観賞植物を植えない！

解説は、ホームページ

「にいがた食の安全インフォメーション」にアクセス

“毒草”の解説



2

正解は全部(葉・花・球根)

# (5)インターネットを活用した啓発①

ホームページ「にいがた食の安全インフォメーション」

<http://www.fureaikan.net/syokuinfo/>



## ■きのこによる食中毒 県内発生ワースト3

よく食中毒を起こす代表的な毒きのこの種類は少ないので、特徴を完全に覚えましょう！

[新潟県内のきのこ別の発生状況](#)を見ると、毒きのこの上位3種類で、全体の80パーセント以上を占めています。

なじみのある食用きのこによく似ているので、注意しましょう。

### 新潟県内ワースト3

第1位

ツキヨタケ

第2位

ドクササコ

第3位

クサウラベニタケ

### 第1位 ツキヨタケ

特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>柄（傘のつけ根）の肉の内部に黒いシミがある。（ないものもある）</li><li>ヒダ（傘の裏側）が暗闇で発光する。（新鮮な場合）</li><li>柄のつけ根にリング状の隆起帯がある。</li></ul>
症状	おう吐、腹痛、下痢



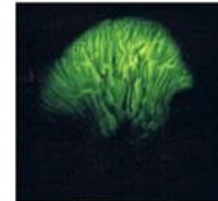
ツキヨタケ

ブナなどの枯れ木に重なって発生

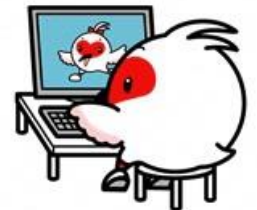


ツキヨタケ断面

柄の肉の内部に黒いシミがある



暗闇で発光するツキヨタケのヒダ



# (5)インターネットを活用した啓発②



メールマガジン  
(毎週木曜発行)

## 第754号 (令和4年10月6日)

▽▲食用と正確に判断できないきのこは絶対に「採らない！」  
「食べない！」 「人にあげない！」 ▲▽

朝晩、涼しくなってきましたね。

これからの時期にきのこ採取に出かける方も多いと思いますが、県内では例年毒きのこによる食中毒が発生していることから、県では9月1日から11月15日までを「毒きのこ食中毒予防強化期間」としています。

食用と正確に判断できないきのこは、絶対に「採らない！」  
「食べない！」 「人にあげない！」を守り、楽しく、おいしく  
きのこを味わいましょう。

# (6) 毒きのこ食中毒発生注意報・警報



毒きのこ食中毒予防強化期間中(9/1~11/15)に最初の毒きのこ食中毒が発生したら、注意報を発令(報道発表)



次に該当する場合、警報を発令(報道発表)

ア 毒きのこ食中毒が今後も継続発生する恐れあり

イ 死者又は重症者が発生

警報発令年(平成20年以降で)

平成28年(毒きのこ食中毒7件)

平成23年( // 8件)

平成22年( // 8件)



カエントケ **【猛毒】**

平成11年県内で死者1名発生